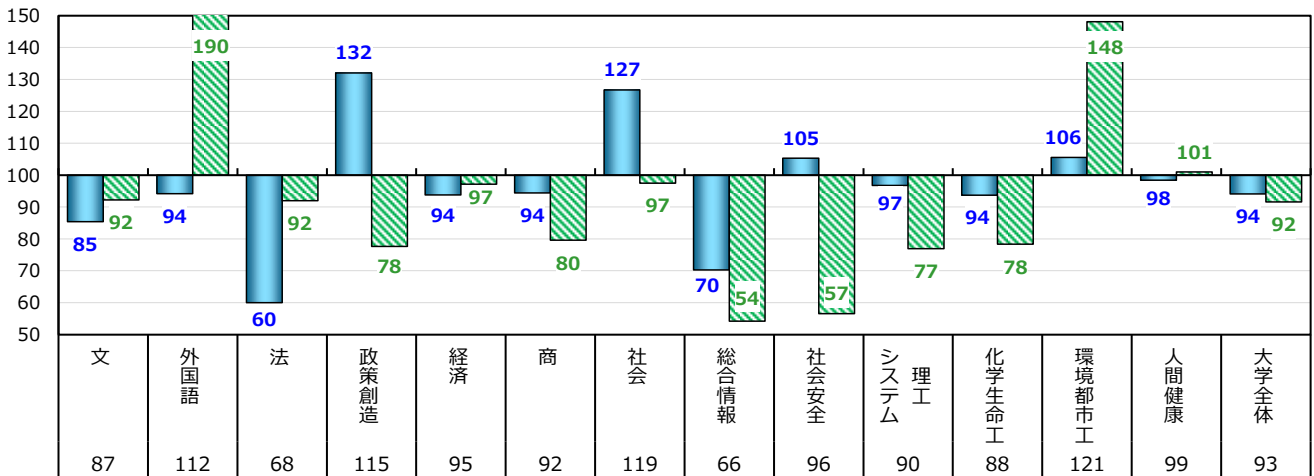


関西大：大学全体ではやや減少で5年連続減少、13学部中9学部で減少 一般：-3,274人 共テ：-1,896人

※前年度の志願者数を100とする指数
 ※学部名の下の数値は学部全体の指数

■ 一般方式 ■ 共テ利用方式



主な入試変更点 選抜方法：環境都市工<共テ・5科目型>…廃止
 <共テ併用・4科目型数学力重視方式>…新規実施
 (建築)、(都市システム工)、(エネルギー環境・化学工)<共テ・4科目型>、<共テ・4科目(数学・理科)型>…新規実施
 試験日程：環境都市工<共テ併用・4科目型数学力/理科力重視方式>…1日実施→2日間実施
 募集人員：社会安全(安全マネジメント)<一般・全学2科目型英数方式>…20人→25人
 <共テ・後期>…10人→5人
 環境都市工<一般・全学日程1>…学部で67人→学部で60人

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では5,170人(93)のやや減少で5年連続減少。関西地区難関私立大の競合関係の変化の影響もあった。学部別では、13学部中9学部で減少。方式別では、一般方式は3,274人(94)のやや減少。学部別では、法(60)、総合情報(70)、文(85)はいずれも大幅減少。一方で、政策創造(132)、社会(127)の大幅増加が目立った。共通テスト利用方式は1,896人(92)の減少。学部別では、総合情報(54)、社会安全(57)、システム理工(77)、(政策創造)(78)、化学生命工(78)、商(80)はいずれも大幅減少。一方で、(外国語)(190)、環境都市工(148)はいずれも大幅増加。

<一般方式>

- 文(85)は、大幅減少で2年連続減少。志願者数は6,000人を下回った。
- 外国語(94)は、やや減少で6年連続減少。志願倍率は連続減少前の2018年度の27.2倍→15.0倍に大幅ダウン。
- 法(60)は、大幅減少で2年連続減少。志願者数は4,000人を下回り、志願倍率も2022年度の21.8倍→12.4倍に大幅ダウン。
- 政策創造(132)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。志願倍率も13.9倍→18.3倍にアップ。
- 経済(94)は、前年度増加の反動は小さくやや減少。志願者数は6,000人を下回った。
- 商(94)は、やや減少で7年連続減少。その結果、志願倍率は連続減少前の2017年度の24.0倍→15.8倍にダウン。
- 社会(127)は、大幅増加で2年連続増加。志願者数は5年ぶりに7,000人を上回った。
- 総合情報(70)は、前年度増加の反動で大幅減少。志願者数は3,000人を下回った。
- 社会安全(105)は、やや増加だが、募集人員も5人(5%)増加したため、志願倍率は22.5倍→22.7倍とわずかなアップに留まった。
- システム理工(97)は、2年連続やや減少。志願倍率は23.0倍→21.8倍→21.1倍とダウン。
- 化学生命工(94)は、2年連続増加の反動は小さくやや減少。
- 環境都市工(106)は、募集人員は7人(5%)減少だがやや増加で、志願者数は2022年度と同じく3,000人を上回った。
- 人間健康(98)は、微減だが2年連続減少。

<共通テスト利用方式>

- 文(92)は、3年連続減少。志願者数は4年ぶりに2,600人を下回った。
- 外国語(190)は、4年連続減少の反動で1.9倍増。志願者数は700人を上回った。
- 法(92)は、2年連続減少。志願者数は3年ぶりに2,000人を下回った。
- 政策創造(78)は、大幅減少で5年連続減少。志願者数は7年ぶりに1,000人を下回った。
- 経済(97)は、やや減少で3年連続減少。志願者数は3,200人を下回った。
- 商(80)は、大幅減少で3年連続減少。志願者数は4年ぶりに1,000人を下回った。
- 社会(97)は、前年度増加の反動は小さくやや減少。志願者数は2年連続2,000人を上回った。
- 総合情報(54)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。2019年度以降前年度の反動による増減が継続。
- 社会安全(57)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- システム理工(77)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。志願者数は7年ぶりに2,200人を下回った。
- 化学生命工(78)は、6年連続増加の反動で大幅減少。
- 環境都市工(148)は、2年連続大幅増加で、志願者数は2,300人を上回った。
- 人間健康(101)は、2年連続前年度並。